

## 発行所

公益社団法人  
全日本仏教婦人連盟  
〒151-0051 東京都渋谷区  
千駄ヶ谷4-5-10-205  
TEL 03-5772-0677  
FAX 03-6434-0184  
URL http://jbwf.jp

# 沙羅の樹

Saranoki

No.17

2022年秋号

10月1日発行

2020年にスタートした「子供たちに豊かな地球をつなぐキャンペーン」の一環として当連盟の文化講座に併せて(公財)全国青少年教化協議会、(公社)日本仏教保育協会の共催で行われました。文化講座は年に4回各方面からの専門家の方々に講演いただき会員及び会員外の方も

## 第124回文化講座 「いのちの共生を考える」 「地球は昔に戻れるのだろうかー海から今を見る」

2022年9月5日



## 子どもたちに 豊かな地球をつなぐ キャンペーン

2022年9月5日、東京港区の東京グランドホテルに於いて(公社)全日本仏教婦人連盟主催、第124回の文化講座「いのちの共生を考える」「地球は昔に戻れるのだろうかー海から今を見る」と題し、窪川香薫先生をお招きして講演会を開催いたしました。

参加されて開催してまいりましたが、この2年間は感染症の事情でなかなか講座を開くことができませんでした。この日も感染症対策のため当日の参加は予約を30名に限定し、会場は間隔をとって椅子を配置いたしました。会場参加できない方々のために講座開催の後にYouTubeで後日配信され、DVDも制作することにいたしました。

窪川香薫先生は早稲田大学大学院理工学研究科修了の理学博士で、専門は生物学。東京大学海洋研究所教授などを経て現在帝京大学で教鞭を執られています。また、東京の浄土宗長福寺のご住職でもあります。

窪川先生のお話はSDGsから始まりました。海の中で進行している海洋プラスチックごみの問題、プラスチックの製造、廃棄焼却で出る二酸化炭素による温暖化の問題。海の危機は地球温暖化、海面上昇、オゾン層の破壊へと発展していくという海の今を考えるとお話でした。参加者の方々は窪川先生の自然や環境破壊のお話に時間のたつのも忘れて聞き入りました。自然が環境と生物のバランスの上にあることを振り返り、今回は海の環境問題から自然との共生を考える機会に、そして地球は昔に戻れないと思いますが、子供たちに豊かな地球を残すために、自然と人との



共生を進め、縁起を忘れてはならないと思います、と先生は述べられました。

私たち全日本仏教婦人連盟はSDGsについて少しずつ理解を深め、日々の生活の中での小さな実践が大切なことを学びました。リーフレットにおいては「水を大切に」、マイバッグ、マイボトルのキャンペーンを行ってきました。今回の海の今についての講演は私たちの見えない世界で起きている地球の変化を学び、一歩でも二歩でも日常の中で私たちの地球を守る行動を今すぐに始めなければならぬことをひしひしと感じさせられました。(日比野)



\*講演録は全佛婦136号にて掲載予定です

## 私たちの 活動報告

全日仏婦事業に  
多くの方々よりご協力いただき  
ありがとうございます。

それぞれの活動に  
運用させていただきますので、  
どうぞ今後とも  
よろしく願いいたします。  
9月20日現在(順不同・敬称略)

7月

- 1日 「全佛婦」135号発行
- 21日 第1回運営委員会(代々木会議室・Zoom会議)  
・第1回編集会議(代々木会議室)
- 29日・30日 第36回日本仏教保育協会北海道大会(札幌)

8月

- 4日 比叡山宗教サミット35周年記念(京都・滋賀)
- 22日 第2回大会打ち合わせ(大本山川崎大師平間寺)
- 23日 第2回運営委員会(Zoom会議)
- 25日 第2回編集会議(権寺)
- 29日 第8回子どもたちに豊かな地球をつなぐキャンペーン会議(東京グランドホテル)

9月

- 5日 第124回文化講座(東京グランドホテル)
- 10日 (公財)WCRP女性部会40周年記念式典・パネルトーク(明治神宮・フォレストテラス)
- 28日 第3回運営委員会(Zoom会議)

### ▼新入会員の紹介

丸山孝枝 塚本敦子 加藤恵委子  
藏澤弥生 丑田ゆかり 小川久美子  
橋本眞理 星野和美 諸角美智  
利澤照代 清水典子 宇野美穂子  
長谷川享子(以上、念法眞教)

### ▼指定寄付金にご協力の方

祐天寺

### ▼賛助金にご協力の方々

曹洞宗 浄土宗 浄土真宗東本願寺派  
念法眞教 真言宗智山派  
真言宗豊山派 日蓮宗 真言宗須磨寺派  
真言宗大覚寺派 真宗木辺派  
天台宗 法華宗陣門流 総本山知恩院  
青蓮院門跡 妙法院門跡 三千院門跡  
日光山輪王寺門跡 中宮寺門跡  
圓照寺門跡 大本山池上本門寺  
大本山川崎大師平間寺  
大本山成田山新勝寺  
高幡不動尊金剛寺  
大本山増上寺 聖観音宗浅草寺  
大本山善光寺大本願 大本山永平寺  
大本山總持寺 本山大坊本行寺  
総本山四天王寺 大本山中山寺  
音羽山清水寺 孝道教団 天王寺

### 総持寺 慈眼寺

上品蓮台寺 妙清寺 梅窓院  
龍光寺 深大寺 西新井大師總持寺  
回向院 寶生院 清岸寺 光明院  
宝蓮寺 浄眞寺 満願寺 東園寺  
長専院 正覚院 傳通院 高岩寺  
妙慶院 竹林寺 如宝寺 真如苑  
(公財)仏教伝道協会  
(一社)日本仏教讃仰会  
(一財)京都仏教会 静岡県仏教会  
大和証券(株)(株)中山石渠  
弁護士柴田龍太郎

### ▼社会福祉基金にご協力の方々

中宮寺門跡 法華寺門跡 宝鏡寺門跡  
花岡眞理子 海老塚りり子  
村主みや子 小峰みな子 安井豊子  
山居享子 笠井淑子 宮坂優子  
石井康子 杉浦悟子

### ▼心の募金にご協力の方々

東伏見貝子 後藤陽子

### ▼写経運動にご協力の方々

東伏見貝子 花岡眞理子 小峰みな子  
佐々木公子 石井康子 大橋百合子  
大越昌子 後藤陽子 海老名初江  
村上和之

### ▼花の種運動にご協力の方々

光明院 後藤陽子 逸見秀子

### ▼あおぞら奨学基金にご協力の方々

小峰みな子 佐々木公子 大橋百合子  
山田麻記子

### ▼ウクライナ支援にご協力の方々

清水則子 湯地和夫

### ▼災害支援にご協力の方々

宝仙寺 逸見秀子

### ▼「全佛婦」誌代にご協力の方々

末廣久美 花岡眞理子 後藤陽子

### ▼子どもたちに豊かな地球をつなぐ

キャンペーンにご協力の方々

(公財)全国青少年教化協議会  
花岡眞理子 本多端子 日比野郁皓  
大橋百合子 海老塚りり子

発行人 花岡眞理子

編集人 日比野郁皓・山口偉理子

編集・デザイン 合同会社まに



REPORT! 02

おたきふどうそん 御瀧不動尊 金蔵寺

第2回は1年を通して地域と共に様々なイベントを開催している梨本三千代副理事長のお寺を紹介しします。

御瀧不動尊金蔵寺は真言宗豊山派の寺院です。千葉県船橋市北部に位置し、開山は、応永30年(室町時代)と記されています。

北部というと50年位前までは、今より農業地帯で、寺の行事は地域と密接な関わりを持っていました。しかし在住の方にこの辺は文化と疎遠だと言われ、それなら寺でもっと何かを発信できればというのが寺でのイベントの開催の始まりでした。

3月~4月には桜の名所でもある境内で「桜祭り」が行われます。子供達30人ほどの太鼓やソーランで始まり、別の日には薪能、地元の方々によるピアノやバイオリン等々のミニコンサートを三重塔の前で行ったりしています。



桜祭り

6月に入ると、「蛭祭り」。この日の為に毎月掃除などの準備をしている蛭プロジェクトボランティアメンバーによる企画で御瀧の森に蛭を舞わせています。楽しみながら、かつ蛭の里親として約3,000人程の方が見学に来てくださっています。これらは「故郷作り」でもあり、青少年育成の一環として20年を超える行事となりました。

1年のメインは8月、当山の2日間の「大祭」で万灯御輿が表門から県道を回り脇門から入って境内本堂前で、ひとねり、その他、地元伝統芸能のバカ面踊りと太鼓、盆踊り、また近隣の中学生の管弦楽部が「ゆかた」で参加します。屋台は150軒を超え軒を連ねます。

境内は地域の為にあり、とい

う意味でコミュニティホールもワークショップを含めて無料で開設しています。

地域の方々それぞれの得意な分野での御力をお借りして楽しみ、寺も地域も活性化していることを確認でき、そのことが感謝でもあり、寺の歴史でもあるといえます。

コロナが沈静化し、いつもの日々が戻ってくることを地域の方々と共に切に望んでいます。

万灯御輿



information

第34回 成道会の集い 東京都仏教連合会

日時:12月9日(金)13時~ 場所:有楽町朝日ホール

第69回 全日本仏教婦人連盟大会

日時:10月27日(木)11時~ 場所:真言宗智山派 大本山川崎大師平間寺

第46回 全日本仏教徒会議 山梨・身延山大会

日時:10月7日(金)・8日(土) 場所:日蓮宗総本山身延山久遠寺

第36回 全国仏教保育北海道大会に参加して

7月29日(金)30日(土)の両日にわたり公益社団法人日本仏教保育協会の第36回全国仏教保育北海道大会が執り行われましたので参加してまいりました。

29日にカナモトホール(札幌市民ホール)で行われた全体会では、連なる生命ー共に生きることの喜びーをテーマに「私たちは未来を担う子供たちが、真の幸福を希求しつつ人生を歩む人間形成の基礎を培うことを目指します」という宣言があり、釈徹宗先生による基調講演が「仏教と保育のケミストリー」と題し行われ、「連なる生命」



をテーマに釈徹宗先生、本田優子先生、今津秀邦先生からなる鼎談と続きました。記念公演は「悲しみの先に開かれる世界」をやなせな先生がお話しされ、その後懇親会が開催されました。30日にホテルロイトン札幌で行われた分科会では「生命尊重の保育」や「アイヌの世界」など11の分科会が開催されました。「宗教心なき教育は、賢き鬼を生む」と言われておりますが、本会に参加させていただき仏教精神を持った保育者の

比叡山宗教サミット 35周年記念 「世界宗教者平和の祈りの集い」に参加して

1987年8月世界の宗教指導者は比叡山上に集い「世界宗教者平和の祈りの集い」を開催し、宗教の違いを超えて平和のために真摯な祈りを

皆様により正に「明るく、正しく、仲良く」の仏教保育3綱領による保育が、将来を担う子供たちに伝わることを確信して、大きく期待させていただきます。そして当連盟も2団体と協力して「子供たちに豊かな地球をつなぐキャンペーン」を遂行してまいりたいと心新たに致したところでございます。(本多)

捧げ、全世界にメッセージを発信し、「宗教者は平和のために働くと共に、常に弱者の側に立つこと」を誓い宗教サミットは始まりました。以来、宗教サミットも今年で35周年を迎えました。令和4年8月4日(木)10時より国立京都国際会館に於いて式典が行われました。阿部昌宏実行委員長の挨拶に始まりローマ教皇による平和のメッセージが読み上げられ、記念講演として「歴史的大転換期における宗教ー心の回復力(レジリエンス)を求めて」というテーマで寺島実郎氏より現代人と宗教のあり方についてお話がありました。

シンポジウムのテーマは「気象変動と宗教者の責務」と題して行われ、パネリストに秩父神社宮司蘭田稔氏、東洋大学名誉教授竹村牧男氏、太平洋教会協議会事務総長ジェームズ・バグワン氏、アジア宗教者平和会議事務局長ダスモンド・カーヒル氏が登壇され議論が重ねられました。今、世界で問題となっている様々な気候変動による被害、戦争等での自然破壊を考へ人間として一番大切な感謝の心、他者を思う心、謙虚さ、そして自然との共生共存を大切にしていこうと結論付けられました。場所を比叡山へ移し大きな雷と共に大雨となりましたが、式典の中で大樹孝啓御座主様より心に残る素晴らしいお言葉をいただき、その後平和の鐘が美しく鳴り響きました。世界平和祈りの式典に参加できました事心より感謝申し上げます。(花園)

